

We are looking for your **inventions**



イノベーション・パートナー募集



IT・ロボティクス・半導体・化学など
未来をひらくアイデアを求めています

インテレクトチュアル・ベンチャーズ(IV)は、技術的アイデアを提供いただく
創造力豊かな「イノベーション・パートナー」を募集しています！

特にこのような方にイノベーション・パートナー・プログラムをお勧めします。

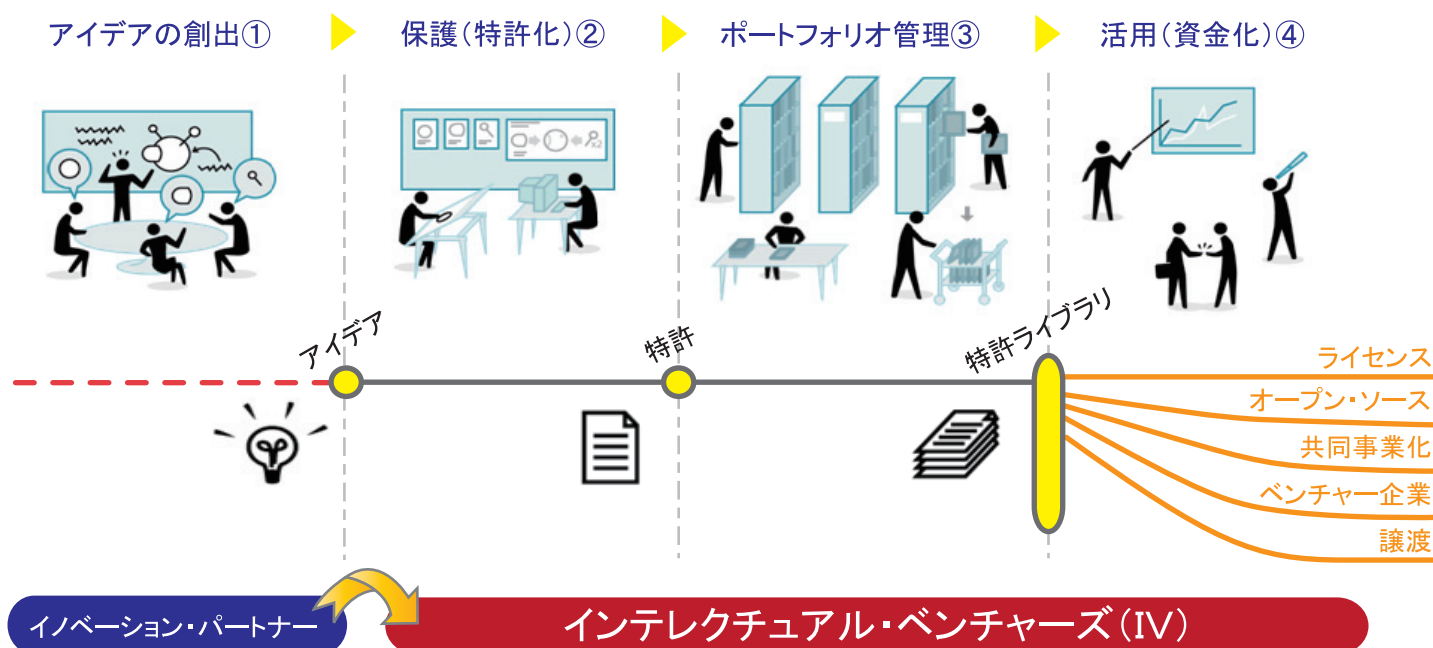
- 自らのアイデアを、グローバルに活用させたい
- 技術のランセンス先が、なかなか見つからない
- 予算の都合で、特許出願をあきらめていた
- アイデアだけで、研究資金を獲得したい

詳しくは次のページをご覧ください

💡 インテレクチュアル・ベンチャーズとは

インテレクチュアル・ベンチャーズ(IV)は、2000年に米国ワシントン州に設立された投資会社です。科学技術に立脚した、世の中をよりよくする技術アイデアに特化して、投資を行っています。世界9か国に650名近いプロフェッショナルを擁し、優れたアイデアの創出・権利化・活用に係る業務を行っています。IVの日本支社は2007年に創設され、既に多くの大学や研究機関の研究者、ベンチャー企業の技術者、ならびに個人の発明者とともに、日本の優れた知を国内外で最大限に活かすために邁進しています。

IVは各界において第一線で活躍されている研究者・技術者とアイデア創出活動に取り組んでいます。米MITの最高位教授 Institute Professor の一人であるRobert Langer博士、ヒトゲノム・プロジェクトの創始者でレメルソンMIT発明革新賞受賞者のLeroy Hood氏、スタンフォード大学Blake Wilbur ProfessorのRichard N. Zare氏など多くの著名な方々に、IVのイノベーション・パートナーとしてご活躍いただいています。



イノベーション・パートナーには、IVの設定した技術テーマにおいて、アイデアの創出(図の①)に専念いただいています。アイデアの特許化(②)、特許化したアイデアをもとに利用者が使いやすい特許ライブラリを作成するポートフォリオ管理(③)、さらに特許ライブラリの活用先(ライセンス先)を見つける資金化(④)の業務すべてを、IVが行います。

💡 イノベーション・パートナー・プログラムについて

IVは、独自のマーケット調査や技術調査に基づいて、将来有望な技術テーマをいくつか設定し、そのテーマにおいて抽出した技術課題を、RFI(Request For Invention, 課題提案書)という文書にまとめています。イノベーション・パートナーには、RFIに書かれた技術課題を解決するアイデアを考えていただいています。RFIの募集期間中に提出いただいたアイデア(技術発明)を、IVのグローバル技術グループが取得可能な権利範囲やライセンス価値などを考慮・評価して、採択の可否を決定します。IVは、採択したアイデアの譲渡またはライセンスを受け、これに対する対価として、パートナーに報奨金をお支払いします。また、グローバル企業にライセンスし、その際に発生した利益の一部をパートナーに還元します。



あなたもイノベーション・パートナーになりませんか

現在IVでは、IT・生命科学・物理科学の分野において、技術的アイデアをお考えいただく「イノベーション・パートナー」を求めています。おひとりでもグループでも参加いただけます。ご興味のある方は、以下のようにEメールにてご連絡下さい。追って、IVのパートナー・プログラムに関する情報をお知らせします。

E-mail jp-it@intven.com
件名 発明パートナー
内容 お名前、連絡用メールアドレス、ご所属、ご専門分野の情報をご記入下さい。

イノベーション・パートナーになっていただくと、以下のメリットを享受いただけます。

- IVが、アイデアの権利化業務(特許出願、維持など)を行い、その費用をすべて負担！
- IVが、アイデアを採択した場合、パートナーにその対価として報奨金をお支払いします！
- IVが、アイデアをグローバル企業にライセンスし、発生した利益の一部をパートナーに還元！

パートナーは、特許出願費用を一切負担することなく、アイデアの創出に専念いただくだけで、資金を得ることができます。また、自身のアイデアがグローバルに活用される機会を得られます。ぜひIVイノベーション・パートナー・プログラムをご検討下さい。

アイデア募集のテーマ

1. ユビキタス・コンピューティング

Ubiquitous Computing

現実世界とデジタル世界は急速に融合しようとしています。プロセッサの性能向上・微細化、また無線通信技術の発達により、ありとあらゆるものにプロセッサとソフトウェアが組み込まれ、ネットワークに結ばれ、インテリジェントになりつつあります。ユビキタス・コンピューティング環境におけるディスプレイ管理、アプリケーションのローミング、自己回復性・耐故障性などに関するアイデアを求めています。

2. 多量データ管理

Big Data

近い将来、多くのセンサデバイスやロボットが世の中に行き渡ると、そこから出力されるデータが膨大になる、いわゆる「データの洪水」が懸念されています。2012年には、ビデオ画像以外のデータのうち20%は、センサから生成されると予測されています。多量のデータを管理するストレージの信頼性を高める技術、スケーラブルなデータ探索技術、データマイニング技術などに関するアイデアを求めています。

3. ロボティクス

Robotics

二足歩行ロボット、介護用ロボットスーツが発表されるなど、ロボット技術に著しい成長が見られます。ロボットは、メカクス・エレクトロニクス・ソフトウェアなど多くの技術が複合的に結びついたもので、今後の技術発展のためには、全体の統合技術だけでなく、各要素技術の向上が求められています。

4. 拡張現実

Augmented Reality

現実のビデオ画像に、文字・画像・モデルなどの電子情報を付加的に合成・提示する拡張現実が注目されています。既に実用化が進んでいる放送技術分野だけではなく、今後ゲーム・携帯端末を用いたアプリケーション・広告・宣伝の用途に広まることが期待されています。モデリング、ユーザー・インターフェース、BCI(Brain Machine Interface)などに関するアイデアを求めています。

5. 携帯電話ネットワーク

Mobile Networks

携帯電話サービスは、世界で大きな市場を形成し、世界のGDPの1.1%を占めるまで成長してきました(2008年)。今後携帯電話ネットワークのデータ量が爆発的に増加すると、ネットワークのキャパシティおよびパフォーマンスの問題がより顕在化します。ユーザーへのサービス品質を維持・向上するため、携帯電話ネットワークを動的に最適化するアイデアを求めています。

6. 遠隔医療・医療ICT

Telemedicine

医療費削減のため、治療を中心とする従来の医療から、健康増進・健康維持・早期診断に重点が置かれています。近年の携帯無線デバイス・センサー技術の目覚ましい発達から、携帯電話やゲーム端末を使った健康管理サービスが普及し始めてきました。加えて、患者を遠隔で診断する遠隔医療も重要になっています。多目的な極小センサデバイス、遠隔モニタリング、疾患の早期検出などに関するアイデアを求めています。

7. 次世代半導体チップ

NextGen Chip

半導体の高速化の進展に伴い、従来の2次元配置のチップ(2D-IC)構成では信号遅延の問題などが深刻化しています。小型化に関しても限界を迎えており、解決策としてチップの3次元的な集積化(3D-IC)が試みられています。ワイヤーボンディングによる3D-ICが既に実用化されていますが、さらなる低コスト、小型化を目標に、TSV技術を用いたダイサイズ積層技術など様々な技術に関するアイデアを求めています。

8. 有害化学物質対策

Product Safety

環境汚染に伴う損害は一国の問題にとどまらず、多国間問題となることや、一旦事故が発生すると、高額な損害賠償義務が発生することも多く、多大の経済損失に繋がることなどから、近年ではRoHS指令、REACH法に代表されるように、人や環境に有害な化学物質に対する規制がより広域で、かつ厳しいものとなってきています。ハロゲン系溶媒の代替化学物質や環境ホルモンの疑念の強い物質の代替材料や溶出防止、重金属の回収やリアルタイムでの検出などの様々な有害物質対策技術に関するアイデアを求めています。

その他、「建設」、「ヒト組織工学」のテーマにおいても、アイデアを募集しています。

お問合せ先

インテレクチュアル・ベンチャーズ・ジャパン

住所 〒108-0023 東京都港区芝浦3-5-39 田町イーストウイング 5F

電話 03-3769-2620 FAX 03-3769-2688

E-mail jp-it@intven.com URL <http://www.intven.jp/>

INTELLECTUAL
VENTURES